

くわしい調査をもとに 身近で切実な声を届け実現迫る

新年度予算に、ねがい実現を

山岡光弘議員



山岡議員は、農業と地域を破壊するTPP参加反対の一点での共同、豪雨時の土砂堆積で機能喪失した「風船ダム」の修復、財政安定化基金の取り崩しで第5期介護保険料の引き下げを、新年度の保育園・幼稚園の入所希望、県立養護学校のマンモス化解消と医療ケアが必要な子どもへの通学保障について、実態を示して改善を求めました。

風船ダムの写真を示して改善を求める山岡光弘議員

小西喜代次議員



小西議員の福井原発に関する質問で市長は、原子力災害計画は来年の秋をめどに策定、再生可能エネルギーへの転換は前向きに検討などと答弁しました。

信楽高校分校化の白紙撤回を求めることについて、市長は引き続き働きかけることを表明。

信楽町の雲井地域と長野地域の直通バスの運行、帝産バスの信楽・石山間増便にむけ市の役割を求めました。

地域包括支援センターを生活圏域単位の設置は、機能を強化すると前向きな答弁。

今夏の大雨、台風の災害復旧対策について、危険箇所から優先的に対応していくとの答弁がありました。

小松正人議員



小松議員は、閉園予定の公立貴生川幼稚園・保育園の24年度希望者が163人もあり保護者の「公立園を残してほしい」の悲痛な声を届け、一方で、「認定こども園」は455人中207人で半分にも届かない状況と問題点を指摘しました。「閉園するな」の裁判は来年1月にずれ込み裁判が注目されます。

一部埋め立ての水口城の堀の復元と歴史ゾーンにふさわしい周遊道路の復活整備を訴えた。

また、市民に開放された「スポーツの森」とするため、バス路線の乗入れ拡大を求めた。

コミュニケーションバスは、バスが通らない集落、新甲賀病院行きを計画に入れよと迫りました。

水口城周辺の写真を示し、整備を図れとせまる小松正人議員

安井直明議員



安井議員は、24年度予算に耐震化の促進、自主防災組織の育成と補助の拡大、市の未利用地の有効活用、住宅リフォーム制度の増額などを盛り込めと質問。耐震化の促進や未利用地調査は、民間に委託、リフォームは、喜ばれており継続するなど答弁。

さらに保育園・幼稚園の園長や、図書館長を課長級に。修学旅行・通学自転車補助の復活。地域市民センターの利用状況の問題点などを指摘。今後の対応を質問。保育園などの園長の課長級は検討を約束。修学旅行や通学自転車補助は、復活しないと答弁。市民センターの来所者数はミスがあったと答弁しました。

地域市民センター来所者の表を示し質問する安井直明議員。

日本共産党

甲賀市議団ニュース

2011年12月18日 NO. 102



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
Tel 62-9652
Fax 62-9652



山岡 光弘
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765